

2026年8月21日

輸送動向について（2026年7月分）

1. 輸送概況

国内景気は、緩やかな回復にあるものの、原材料価格の上昇を転嫁する動きが継続しており、個人消費は弱含みで推移している。また、当社においては、食料工業品や農産品・青果物等の減送により、本年の輸送実績は前年を下回った。

コンテナは、エコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の減少により前年を下回ったほか、食料工業品は、清涼飲料水及びビール類の出荷が伸びず減送となった。農産品・青果物は、前年に備蓄米の出荷があった影響により前年を下回った。コンテナ全体では前年比 96.0%となった。

車扱は、石油が、前年と比べてやや低調な荷動きとなった影響により前年を下回った。車扱全体では前年比 99.8%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比 97.1%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,630	1,697	96.0%	6,013	6,447	93.3%
車 扱	672	673	99.8%	2,383	2,346	101.6%
合 計	2,302	2,370	97.1%	8,397	8,794	95.5%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品 ・ 青 果 物	90	99	-9	90.6%
	化 学 工 業 品	142	138	3	102.6%
	化 学 薬 品	98	95	2	102.7%
	食 料 工 業 品	295	319	-23	92.6%
	紙 ・ パ ル プ	181	163	17	111.0%
	他 工 業 品	111	112	-0	99.1%
	積 合 せ 貨 物	291	281	9	103.5%
	自 動 車 部 品	77	75	2	103.1%
	家電・情報機器	34	33	1	103.4%
	エコ関連物資	32	90	-58	35.6%
	そ の 他	275	287	-12	95.6%
車 扱	コ ン テ ナ 計	1,630	1,697	-67	96.0%
	石 油	430	441	-11	97.5%
	セメント・石灰石	148	134	14	110.5%
	車 両	63	68	-4	93.0%
	そ の 他	29	29	0	101.8%
車 扱 計		672	673	-1	99.8%
合 計		2,302	2,370	-68	97.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)